

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		研究科園芸学専攻		
科目名称	果樹園芸学特論Ⅱ						授業形態		講義	
科目コード	611200	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	前田 隆昭								ICT活 用	
授業概要	果樹園芸学特論Ⅰでは、各果樹の現状および研究状況を解説し、生産場面における栽培技術の特徴や問題点を紹介した。本講義では、特に海外の動向を中心に海外での研究成果をとりあげながら講義を行っていく【知識・理解の育成】。									
関連する科目	果樹園芸学特論Ⅰを受講しておくことが望ましい。									
授業の進め方 と方法	毎回、授業の始まりに、前回の復習を兼ねて小テストを行う【知識・理解の育成】。その後、授業を始める。授業はパワーポイントを用いて行う。本授業はディスカッション、プレゼンテーションを取り入れたアクティブラーニング形式で実施する【専門分野の知識・技能の育成】 【コミュニケーション能力の育成】。									
授業計画	1. 授業の進め方授業の概要および進め方について説明する。 2. 落葉果樹1 海外での落葉果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 3. 落葉果樹2 海外での落葉果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 4. 落葉果樹3 海外での落葉果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 5. 落葉果樹4 海外での落葉果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 6. 常緑果樹1 海外での常緑果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 7. 常緑果樹2 海外での常緑果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 8. 常緑果樹3 海外での常緑果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 9. 常緑果樹4 海外での常緑果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 10. 常緑果樹5 海外での常緑果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 11. 熱帯果樹1 海外での熱帯果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 12. 熱帯果樹2 海外での熱帯果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 13. 熱帯果樹3 海外での熱帯果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 14. 熱帯果樹4 海外での熱帯果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 15. 熱帯果樹5 海外での熱帯果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する									
授業の到達目標	最先端の果樹園芸学の研究や海外の農業の諸事情を知ることにより、グローバルな考えを持たせることを目標とする【専門分野の知識・理解の育成】。									
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・技能と教養-(1)食・緑」の専門分野における高度な知識・技能									
授業時間外学習【予習】	次回、講義で使用する文献を配布するので、事前に予習すること（約1時間）。									

授業時間外学習【復習】	授業後もきちんと復習し、次回講義の際の小テストに備えること（約1時間）。
課題に対する フィードバック	小テストについては終了後解説する。
評価方法・基準	受講態度・小テスト（50％）、課題提出（50％）
テキスト	随時、資料を配布する。
参考書	特になし
備考	